

手動式セパレーター

30型 50型 50K型 80型 80K型

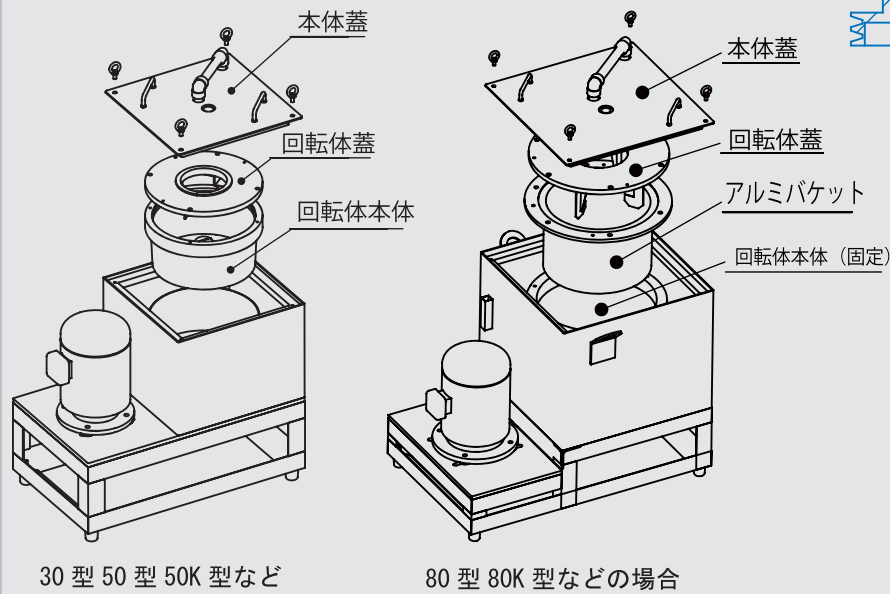
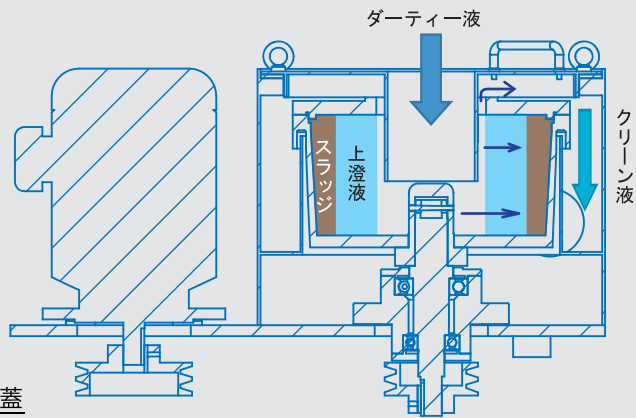


取扱いが簡単な、省スペース
高コストパフォーマンスモデル

概要

1、原理と構造

遠心分離機に送られたダーティー液は回転体により遠心力を受けます。遠心力により液より重いスラッジは回転体内壁へ押付けられ堆積し脱水、脱油されます。上澄液は順次、回転体の中心部よりオーバーフローされクリーン液となります。

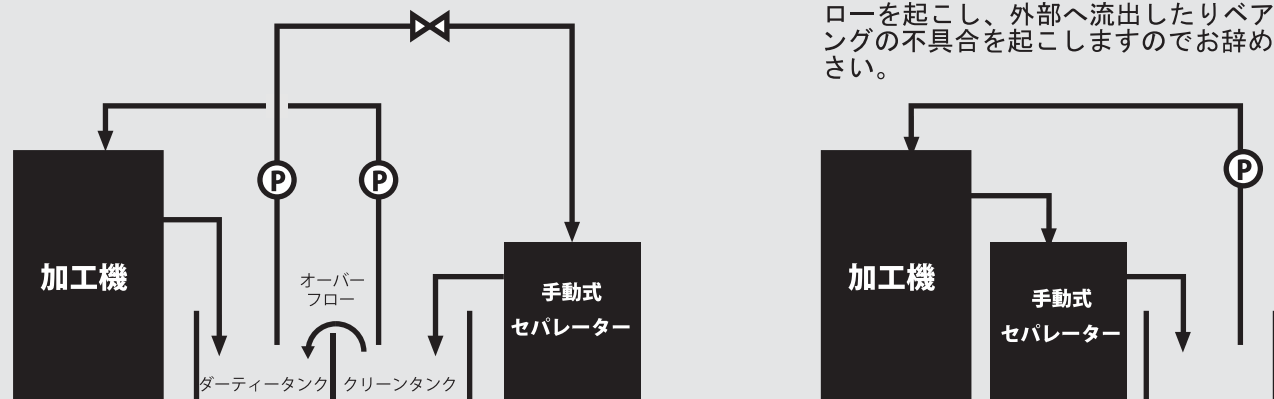


2、清掃方法

手動式セパレーターは、清掃工程が手作業となります。運転停止後、簡単に脱着可能な回転体もしくはバケットを本体より抜き取り回転体蓋を外す事によりスラッジを回収します。

遠心分離機からの排出液は、液の自重落下でタンク等に返されます。必ず、十分な高低差を取って下さい。排出液の配管径を絞ったり排圧のかかるレイアウトの場合は内部でオーバーフローを起こし、外部へ流出したりベアリングの不具合を起こしますのでお辞め下さい。

3、フロー例

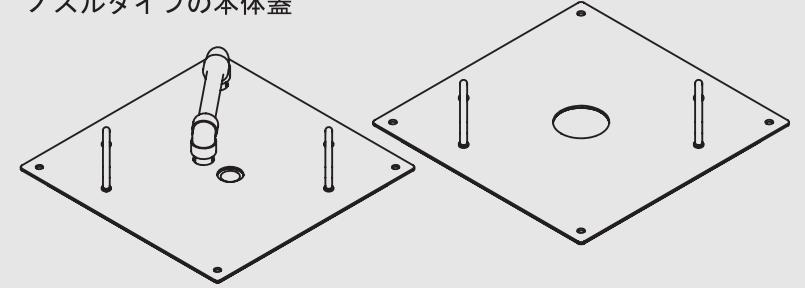


4、本体蓋説明

ノズルタイプの場合 8、型式を参照しNをご指定下さい。ノズルタイプとは、手動式セパレーター本体蓋に吸い込みノズルが付いており、若干の消泡性があります。(例 CL-31N-111A, CL-51KN-111A)

Nが付く
ノズルタイプの本体蓋

N無しの本体蓋



5、オプション

■ ゴムバケット

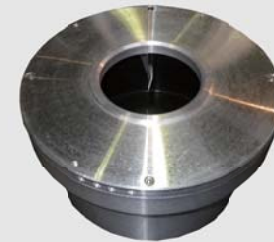
回転体内へゴムバケットを装着する事により清掃が簡単になります。また、2つご用意頂く事により掃除の時間による稼働のロスがなくなります。(30型 50型 50K型 のみ)

■ 予備回転体及びバケット

回転体を交互に使用する事により掃除の時間による稼働のロスがなくなります。

■ 回転体への改造

(アルマイト処理、耐食性のある材質への変更<SUS、ガラスファイバー>油抜きタイプなど)



■ 各種電装品

各種電装品の取り付けが可能です。本体蓋へリミットスイッチもしくは電磁ロックを配置する事により安全性が高まります。また各種スイッチ、制御盤取付可能ですのでお気軽にご相談下さい。

■ 本体への改造

(例 高さ変更、出口方向変更、回転数、キャスター取付、本体蓋を蝶番にて開閉、本体材質変更<通常は鉄>、塗装色変更、クーラントタンク追加、各国高効率モーターへの乗せ換え、各種ポンプ取付)

(本体蓋開閉検知、本体蓋電磁ロック、制御スイッチ取り付け、制御盤)



架台寸法変更
CLH-51KN-111A



CL-51KN-111A ギャド'ポンプ'付
'ポンプ' 架台付 簡易スイッチ付



電磁ロック付、クーラントタンクコントロール用制御盤付
CL-81KN-215C-SP 制御盤付



内部の角を少なくした仕様



CL-51N-322A トイ付



CLD-51KN-115A (電磁ロック仕様・油抜き仕様)
制御盤付自吸式ポンプ付

特殊仕様等にも対応しております、まずはお相談下さい。